

事例22 コップ洗浄中に破片で手を切傷する

1 災害の概況

項目	内容
介護労働者	経験2ヶ月、40歳代の女性
作業	食事介助作業
災害の型	切れ、こすれ
起因物	コップ
傷病	右手薬指の切傷
災害の程度	7日間の休業災害



2 発生状況

介護労働者が、昼食介助後の後片付けで、ひびの入っていたコップと気づかず、そのままスポンジで洗浄したところ、コップが破損し、その破片により右手薬指を切傷した。

3 原因

- (1) ひびが入っていたコップを知らずに強く洗浄した。
- (2) ひび割れたコップを他の食器といっしょに洗い桶に入れていた。

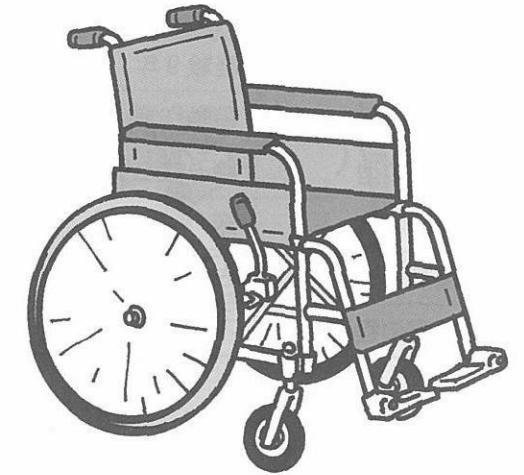
4 対策

- (1) 事業者
 - ① ひび割れ等の食器の使用を控えるよう教育する。
 - ② 安全意識高揚の教育（KYT—危険予知訓練の導入等）を行う。
- (2) 介護労働者
 - ① ひび割れた食器は使用しない。やむを得ず使用する時は手袋等を使用する。
 - ② 使用するときは、事前に、食器に異常がないかチェックするようにする。
 - ③ ガラス製品等のわれやすい物を洗浄するときは、他の食器と区別して洗浄する。

事例23 車いすにブレーキをかけたとき、摺動部の板で手を切る

1 災害の概況

項目	内容
介護労働者	経験2年、40歳代の女性
作業	移乗作業
災害の型	切れ、こすれ
起因物	車いす
傷病	右手指の切傷
災害の程度	21日間の休業災害



2 発生状況

介護労働者が、利用者をベッドから車いすに移乗させようとし、車いすにブレーキをかけたときに、側においてあった手が出っ張ってきたブレーキ脇の摺動板にあたり右手指を切った。

3 原因

- (1) 摺動部分に手を置いた。
- (2) 摺動板が動くとは考えていなかった。
- (3) 利用者に意識がとられており、車いすを見ないでブレーキをかけた。

4 対策

- (1) 事業者
 - ① 福祉用具を使用する際の点検を徹底する。
 - ② 車いす等福祉用具の使用方法について定期的に教育を行う。
 - ③ 安全意識高揚の教育（KYT—危険予知訓練の導入等）を行う。
- (2) 介護労働者
 - ① 使用する前に福祉用具の点検を行う。
 - ② 福祉用具を使用する時は、利用者を安全な状態にとどめ、視線を福祉用具に向け使用する。
 - ③ 機器や機械の摺動部分には手を置かない。
 - ④ 車いすの構造を現物で再度確認する。